

第10回

ECOTOURISM AWARD 2014

エコツアーリズム大賞

地球と人に優しい旅を！
日本のエコツアーリズムの担い手たち



エコツアーリズム大賞概要	1
■ 審査委員長講評	
「第10回エコツアーリズム大賞」の選考を終えて	1
大賞受賞者の紹介	3
優秀賞受賞者の紹介	4
特別賞受賞者の紹介	6
応募状況	8

主催 環境省



NPO 法人日本エコツアーリズム協会



エコツーリズム大賞の概要

エコツーリズム大賞とは

エコツーリズム大賞は、エコツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、広く紹介するものです。全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上並びに、情報交換等による関係者の連帯感の醸成を図ることを目的とし、平成17年度から行っています。

応募対象

以下の活動に取り組んでいる事業者、団体、自治体などを対象とします。

(例: ツアー事業者、宿泊事業者、交通事業者、コンサルタント、協議会、教育機関、学生団体、地方公共団体など)

過去の大賞受賞団体

- 第1回 ピッキオ (長野県)
- 第2回 ホールアース自然学校 (静岡県)
- 第3回 認定特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト (北海道)
- 第4回 飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会 (埼玉県)
- 第5回 海島遊民くらぶ (有限会社オズ) (三重県)
- 第6回 特定非営利活動法人 黒潮実感センター (高知県)
- 第7回 特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ (長野県)
- 第8回 紀南ツアーデザインセンター (三重県)
- 第9回 針江生水の郷委員会 (滋賀県)



審査委員長 講評

「第10回エコツーリズム大賞」の選考を終えて エコツーリズム大賞の10年を振り返って

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 下村彰男



エコツーリズム大賞も第10回を迎えました。本賞10年の歩みは、エコツーリズムに対する認識・理解の広がりや深化の流れを反映したものとと言えます。そもそも本賞は、環境省の政策的取組みの出発点である「エコツーリズム推進会議」が掲げた5つの推進方策の一つとして2005年に始まりました。その後、2008年にエコツーリズム推進法が施行されて以降は、各地での組織的、計画的取組みが促進されるようになり、本賞でも各地域の「協議会」からの応募が目立つようになってきました。

これまでに93件の受賞がありました。それら受賞団体の顔ぶれを見ても、官・民といった組織の性格はもとより、活動フィールドも森林から海域に至るまで、あるいは自然地、農山村、都市と様々です。また、ツアーをはじめとする実施活動の内容や性格も、特徴的な資源に的を絞っているケース、移動手段に特徴のあるケースなど多彩であり、それらが年々広がっています。地域の自然環境や歴史・文化を「資源」ととらえ、その保全や持続的な活用を通して地域づくりに貢献するという考え方が広く受け入れられるようになってきたことが理解されます。

また本賞では、特別賞、優秀賞、大賞と、賞のグレードが高まるほど、提供活動の良質性、環境保全、地域振興に関する総合性が重視されます。「大賞」を受賞した団体の多くは、前

段階として特別賞や優秀賞を受賞しており、賞に対する段階的取組みを通してエコツーリズムに求められるものへの理解を深めることにつながり、本賞自身がエコツーリズムに対する理解や認識の深化に貢献してきたと考えています。

今回の第10回大賞にも全国から57件の応募があり、大賞、優秀賞、特別賞、合わせて9団体が受賞されました。大賞を受賞された小岩井農牧株式会社は、第8回の優秀賞受賞以降も、ツアーの催行数、参加者数ともに増やしておられ、地元を巻き込みながら発展的に取組みつつ、地域の振興や環境保全・形成にも貢献している点が高く評価されました。他の優秀賞・特別賞受賞団体も力点の置き方は異なるものの、皆さん地域に対する理解と貢献の志を持って真摯に取り組んでおられ、受賞に相応しいと評価されています。

こうしたエコツーリズム大賞の歩みも決して平坦ではなく、10回を数えることができたのは、主催の環境省、事務局の日本エコツーリズム協会をはじめ関係方々のご尽力の賜物です。皆様にお礼申し上げますとともに、今後とも本賞が、各地で取組んでおられる方々にとって一つの励みとなり、活動の発展に貢献していくことを願っております。

第10回 エコツーリズム大賞の経緯

募集期間 平成26年9月12日～11月21日

応募総数 57件

表彰式 平成27年1月21日

受賞者一覧

大賞

小岩井農牧株式会社（岩手県）

不毛の原野から大地の美術館へ 畜産と林業が育んだ歴史・文化・自然を満喫

優秀賞

谷川岳エコツーリズム推進協議会（群馬県）

谷川岳のエコツーリズムで新しい感動を

株式会社 エコロの森（富山県）

富山の自然、歴史、文化を伝えるガイドツアー

SATOYAMA EXPERIENCE

（株式会社 美ら地球）（岐阜県）

「里山」から「SATOYAMA」へ

特別賞

特定非営利活動法人 土湯温泉観光まちづくり協議会（福島県）

長い年月をかけて作り出される温泉の魅力体験!

特定非営利活動法人 越後妻有里山協働機構（新潟県）

「里山文化 × 現代アート」を活かした地域づくり

有限会社 森の国（鳥取県）

鳥取県大山でアドベンチャー&自然体験

一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会（広島県）

瀬戸内海の豊かな自然及び歴史・文化の継承

阿蘇ジオパーク推進協議会（熊本県）

阿蘇火山の大地と人間生活

審査委員

審査委員長

下村 彰男 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

越智 良典 一般社団法人 日本旅行業協会理事・事務局長

海津 ゆりえ 特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会理事

桜井 義維英 前・独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家所長

佐藤 博康 松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科教授



小岩井農牧株式会社

岩手県岩手郡雫石町

不毛の原野から大地の美術館へ 畜産と林業が育んだ歴史・文化・自然を満喫

講評

第7回エコツーリズム大賞の特別賞、第8回の優秀賞を受賞している。ツアー催行数、参加者数ともに増加しており、その持続的で発展的な取組が高く評価された。創業以来、継続的な事業運営を行っており、その間に育まれた農場独自の歴史、文化、自然、そして現在の取組をエコツアーとして実施している。ガイドとして農場職員のみならず、地元有志による有償ボランティアも参画し、地元の雇用創出に寄与している。長年の植林活動によって農場の周辺には豊かな森林環境が形成され、水源涵養や炭素固定などの公益的な役割を担っている。また森林には多様な動植物が生息し、それらの保全に配慮した自然観察ツアーに取組んでいる。周辺市町村との連携によるエコツーリズムへの取組を継続し、東日本大震災の沿岸被災地である三陸ジオパークとの連携のほか、被災地の小・中・高校生の学びの場として活用されている。



応募の概要

小岩井農場の歴史・文化や、現在の農林畜産のこだわり等を紹介するツアー、独特の自然環境を活用した自然観察会などを行う。



受賞の言葉

この度エコツーリズム大賞受賞につき、この活動にご支援いただきました関係各位に御礼申し上げます。

小岩井農場は明治24(1891)年、「鉄道敷設のために失った美田良圃の埋め合わせに、岩手山南麓に広がる不毛の原野に大農場を拓くことが国家公共の為」という鉄道庁長官「井上勝」の想いに賛同した、三菱二代目当主「岩崎彌之助」と、日本鉄道会社副社長「小野義真」の3名により開設しました。以来、大規模な植林等「環境保全・持続型・循環型」の畜産と林業を柱とした生産活動を継続し、この事業を郷土史研究家森嘉兵衛氏は、平泉文化・釜石溶鉱炉製鉄とともに「岩手の三大文化」と呼び、宮澤賢治は「新鮮な奇跡」と謳っています。

農場ではこれまで通常非公開としてきた本物の農場の姿を専門ガイドがご案内するエコツアー「ガイド付きツアー『小岩井農場物語』」を開催し、120年余に及ぶ歴史、文化、自然、さらに現在の姿を紹介しています。おかげさまで全国47都道府県すべてから毎年3万人以上の方々にご参加いただいております。このツアーにより、周辺地域では宿泊需要を始めたとした経済波及効果の他、本ツアーを核として岩手県内の各地を結ぶ旅行プランを提案することで、様々な経済効果に寄与しています。これにより、本ツアーは岩手県を始め地元市町村等8つの団体からご後援を頂戴しています。今回の受賞を機に、さらにこのツアーを発展させ、地域貢献に寄与できるよう励んでまいります。



活動内容

第7回エコツーリズム大賞では特別賞、第8回では優秀賞を受賞。明治24年の創業以来、畜産と林業を柱に「環境保全・持続型・循環型」の事業を継続。100年前の制服に身を包んだガイドが農場の歴史を語り、その案内のもと参加者は農場内の森を歩き一次産業の体験等を行う。農場のある雫石町だけでなく、周辺地域を巻き込み「環岩手山エコツーリズム」の核となっている。



組織の沿革
代表者名：児玉 喜一
設立：1891年
所属人数：430名

連絡先
〒020-0507 岩手県岩手郡雫石町丸谷地36番地1
Tel：019-692-4321
e-mail：eco@koiwai.co.jp
Web：http://www.koiwai.co.jp



優秀賞

谷川岳エコツーリズム推進協議会 谷川岳のエコツーリズムで新しい感動を

群馬県利根郡
みなかみ町

講評

多様な主体が関わるエコツーリズムの取組は、推進する上で地域の合意に基づいたルールづくりが大変重要であり、認定された全体構想に基づき、谷川岳を知り尽くしたインタープリターが案内する自然散策ツアー、エコハイキング、スノーシューツアーなど谷川岳ならではのエコツアーを提供している。インタープリターの養成を進めると同時に、自然観光資源のモニタリングを行い、その結果を踏まえたエコツアー実施に努めており、全体構想に基づく継続的な取組が評価された。



「エコツーリズム全体構想」に基づき、谷川岳の自然を守りながら、谷川岳を訪れたお客様に楽しんでいただくための様々な活動を行う。

第8回エコツーリズム大賞では特別賞を受賞。平成24年に「谷川岳エコツーリズム推進全体構想」が認定。谷川岳において地元エコツアーガイドによる自然散策ツアーやスノーシューツアーなどを開催。また地域住民向けにエコツアーガイド研修を行ない、そのガイドによるモニタリング調査を実施している。

応募の概要

活動内容



組織の沿革

代表者名：岸 良昌
設立：2008年
所属人数：38名

連絡先

〒379-1313
群馬県利根郡みなかみ町月夜野 1744-1
みなかみ町観光センター 2F(みなかみ町観光課)
Tel: 0278-25-5017
e-mail: h-ono@town.minakami.gunma.jp
Web: <http://www.tanigawadake-eco.com/>

優秀賞

富山県富山市

株式会社 **エコ口の森**

富山の自然、歴史、文化を伝えるガイドツアー

講評



ツアー事業者として、環境保全に繋がることを主眼に置きエコツアープログラムを作成している。ツアー料金の一部を地域振興に取り組む団体に寄付するなど、地域におけるコーディネーターの役割を担っている。また、質の高いツアーの提供のため、ガイドには山岳ガイドなどの資格を有する者を採用することに加え、ガイドの質の向上のために研修やトレーニングを独自に実施している点が評価された。

応募の概要

活動内容

着地型のエコツアー会社(旅行会社)として、富山の地域資源を発掘し、自然・歴史・文化の喝を守り伝える少人数制のガイドツアーを実施。

第7回エコツーリズム大賞では特別賞を受賞。地域とともにつくるエコツアーを重視。地域住民がエコツアーガイドとして活躍できるような場づくり、ツアーづくりを行うとともに、一度造成したツアーはブラッシュアップしながら継続実施し、質の高いツアーを提供している。カーボンオフセットへの取組も行っている。

連絡先
〒930-0876 富山県富山市文京町3-4-8
Tel: 076-444-0576
e-mail: info@ecolonomori.com
Web: http://ecolonomori.com

組織の沿革
代表者名: 森田 由樹子
設立: 2008年
所属人数: 2名



優秀賞

ちゅ ぼ し

SATOYAMA EXPERIENCE (株式会社 美ら地球)

「里山」から 「SATOYAMA」へ

岐阜県飛騨市

講評

昔ながらの里山の暮らしが残る岐阜県飛騨市で、地域らしさを売りにしたエコツーリズムに取り組んでいる。ツアーに同行するガイドは地域への造詣が深く、参加者が五感を使って飛騨エリアに残る日本らしさに気づいてもらえる説明を実施している。また、飛騨地域の古民家について聞き取り調査を実施してモニタリングを進めるとともに、古民家の手入れを行うボランティア活動を継続するなど地域と連携した資源の保全に取り組んでいるほか、ツアー利用者の外国人比率が70%を超えるなど地域内のインバウンド対応に積極的に寄与している点が評価された。

「里山から SATOYAMA へ」を掲げ、見えにくい地域らしさに興味を持つ欧米系外国人に着目しエコツアーを行う。

応募の概要

活動内容

第7回エコツーリズム大賞で特別賞を受賞。「暮らしを旅する」をコンセプトにプログラムを構成。エコツアーガイドは旅行者と住民との間に立ってコミュニケーションを受け持ち、特に地域らしさに興味を持つ欧米系外国人向けのエコツアー事業を充実させている。また飛騨の里地里山の地域資源を把握するため古民家や日々の営みについて地域住民への聞き取りを重ね、地域資源の情報収集とモニタリングを行っている。

連絡先
〒509-4235 岐阜県飛騨市古川町式之町8-11
Tel: 0577-73-2104
e-mail: info@satoyama-experience.com
Web: http://satoyama-experience.com/jp/

組織の沿革
代表者名: 山田 拓
設立: 2007年
所属人数: 10名



特定非営利活動法人 土湯温泉観光まちづくり協議会

長い年月をかけて作り出される 温泉の魅力体験！

組織の沿革

代表者名：渡邊 和裕
設立：2004年
会員 51名 職員 21名



連絡先

〒960-2157 福島県福島市土湯温泉町字下ノ町17
Tel：024-594-5037
e-mail：spa_tsuchiyo@yahoo.co.jp
Web：http://www.tcy.jp/

新潟県十日町市

特定非営利活動法人 越後妻有里山協働機構

「里山文化 × 現代アート」を活かした地域づくり

組織の沿革

代表者名：若井 明夫
設立：2008年
所属人数：15名

農業従事者の高齢化と地域の過疎が進行する中で、オーナー制度によって耕作放棄された棚田の保全活動に取り組むつつ、里山に展開されるアートを鑑賞に来た都会からの来訪者に対して、地域住民が案内しつつ地域の魅力や里山の暮らしの知恵を伝えるという特色あるプログラムを展開している点が評価された。

豪雪地帯でありかつ河岸段丘の地形をもつ越後妻有地域の里山で、農業従事者の高齢化に伴い放棄される田んぼが増える中で棚田オーナー制度を活用し、田んぼを維持。農法や農村生活の知恵を地元農家から直接学び、田植えや稲刈りを含めたツアーを実施。また「大地の芸術祭」を共催し、アートを媒介にした来訪者と地域住民の交流を進める中で、地域の魅力の掘り起こしを行っている。



連絡先

〒948-0003 新潟県十日町市本町6
越後妻有里山現代美術館 [キナーレ]
Tel：025-761-7749
e-mail：info@tsumari-artfield.com
Web：http://www.echigo-tsumari.jp/

鳥取県西伯郡大山町

有限会社 森の国

鳥取県大山でアドベンチャー&自然体験

組織の沿革

代表者名：伊澤 大介
設立：1978年
所属人数：9名

大山隠岐国立公園において積極的なインバウンド対応を行っており、ダウンヒルサイクリングを通じたエコツアーへの取組が評価された。ツアー参加者が地域の自然や暮らしを体験できるようにルート上の酪農集落や直売所に立ち寄って生産者と交流する機会を設けてガイドを行っているほか、安全管理面では怪我予防のための解説やサポートカーの準備態勢を整えており、ダウンヒルサイクリングによるツアーの典型的なモデルとして期待できる。

大山周辺のフィールドで数々のエコツアーを展開。山から海へサイクリングをする「大山ダウンヒルサイクリング」など人気のツアーを行う。25kmにわたるルートの端々でブナの森や里山の暮しについて解説を行う。インバウンドの受入も積極的で外国人向けのツアーも催行し、日本の伝統家屋のガイドダンスなど外国人ならではの興味ポイントを押さえたものになっている。



連絡先

〒689-3319
鳥取県西伯郡大山町赤松634
Tel：0859-53-8036
e-mail：morinokuni@japro.com
Web：http://www.japro.commorinokuni/

特別賞

講評

活動内容

特別賞

講評

活動内容

特別賞

講評

活動内容



一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会

瀬戸内海の豊かな自然及び 歴史・文化の継承

組織の沿革

代表者名：上嶋 英機
設立：2010年
所属人数：17名



連絡先

〒734-0015 広島県広島市南区出島 1-11-14
Tel：082-259-3371
e-mail：Setouchi.Eco.Tour@gmail.com
Web：http://setonaikai-ecotourism.jimdo.com/

熊本県阿蘇市



阿蘇ジオパーク推進協議会

阿蘇火山の大地と人間生活

組織の沿革

代表者名：佐藤 義興
設立：2009年
所属人数：36団体

阿蘇くじゅう国立公園内の阿蘇地域でこれまで取り組まれてきたエコツーリズムをジオパークという視点で新たに物語に仕立ててツアーを実施している点が評価された。地域全体の物語を解説できるように50時間以上の講習を受け試験に合格した者を認定ガイドとし、ツアーの質の向上に努めている。地元の県立高校と共同で阿蘇ジオパーク学を1年生の必須科目とするなど子どもたちへの教育活動に積極的に取り組んでいる。



連絡先

〒862-2232 熊本県阿蘇市赤水 1930-1 阿蘇火山博物館 1階
Tel：0967-34-2089
e-mail：info@aso-geopark.jp
Web：http://www.aso-geopark.jp/

特別賞

講評

活動内容

特別賞

講評

活動内容



エコツーリズム大賞 過去の受賞団体

第1回	大賞	ピッキオ(長野県)
	優秀賞	小笠原ホエールウォッチング協会(東京都)
		株式会社 南信州観光公社(長野県)
		ホールアース自然学校(静岡県)
		やんばる自然塾(沖縄県)
	特別賞	特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト(北海道)
		財団法人 キープ協会(山梨県)
		紀南ツアーデザインセンター(三重県)
特定非営利活動法人 黒潮実感センター(高知県)		
有限会社 屋久島野外活動総合センター(鹿児島県)		
仲間川地区保全利用協定締結事業者(沖縄県)		
第2回	大賞	ホールアース自然学校(静岡県)
	優秀賞	特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト(北海道)
		白神マタギ舎(青森県)
		特定非営利活動法人 黒潮実感センター(高知県)
	特別賞	特定非営利活動法人 たてやま・海辺の鑑定団(千葉県)
		加賀市観光協会・加賀市観光情報センター(石川県)
		富士山登山学校ごうりき(山梨県)
		特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ(長野県)
松本電気鉄道株式会社・濃飛乗合自動車株式会社(長野県・岐阜県)		
海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)		
第3回	大賞	認定特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト(北海道)
	優秀賞	いしかわ自然学校(石川県)
		海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)
		させぼパール・シー 株式会社(長崎県)
	特別賞	体験村・たのはた推進協議会(岩手県)
		二戸市楽しく美しいまちづくり推進委員会(岩手県)
		裏磐梯エコツーリズム協会(福島県)
		有限会社 リボン<エコツーリズム・ネットワーク>(東京都)
高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森(岐阜県)		
針江生水の郷委員会(滋賀県)		
第4回	大賞	飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会(埼玉県)
	優秀賞	越後田舎体験推進協議会(新潟県)
		特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ(長野県)
		財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター(熊本県)
	特別賞	秋田白山ガイド協会(秋田県)
		稲取温泉観光合同会社(静岡県)
		マキノ里湖体験ツアー協議会(滋賀県)
		大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会(鳥取県)
秋吉台地域エコツーリズム協会(山口県)		
特定非営利活動法人 おちかアイランドツーリズム協会(長崎県)		

第5回	大賞	海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)
	優秀賞	富士山登山学校ごうりき(山梨県)
		紀南ツアーデザインセンター(三重県)
		特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館(高知県)
	特別賞	知床オプションルーツアーズ SOT!(北海道)
		ゆっくりずむ北海道(北海道)
株式会社 JTB 関東(埼玉県)		
特定非営利活動法人 あそんで学ぶ環境と科学倶楽部(東京都)		
有限会社 地域観光プロデュースセンター(滋賀県)		
エコガイドカフェ(エコツアーボ合同会社)(沖縄県)		
第6回	大賞	特定非営利活動法人 黒潮実感センター(高知県)
	優秀賞	有限会社 リボン<エコツーリズム・ネットワーク>(東京都)
		宮津市エコツーリズム推進協議会(京都府)
	特別賞	尾瀬認定ガイド協議会(群馬県)
		社団法人 若狭三方五湖観光協会(福井県)
		特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金(長野県)
特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校(宮崎県)		
第7回	大賞	特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ(長野県)
	優秀賞	てしかがえこまち推進協議会(北海道)
		二戸市宝を生かした事業実行委員会(岩手県)
		針江生水の郷委員会(滋賀県)
	特別賞	小岩井農牧 株式会社(岩手県)
		株式会社 エコロの森(富山県)
飛騨里山サイクリング(株式会社美ら地球)(岐阜県)		
特定非営利活動法人 桜島ミュージアム(鹿児島県)		
第8回	大賞	紀南ツアーデザインセンター(三重県)
	優秀賞	小岩井農牧 株式会社(岩手県)
		特定非営利活動法人 あそんで学ぶ環境と科学倶楽部(東京都)
		高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森(岐阜県)
	特別賞	日高地域活性化協議会(北海道)
		谷川岳エコツーリズム推進協議会(群馬県)
特定非営利活動法人 赤目四十八滝渓谷保勝会(三重県)		
湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部(滋賀県)		
社団法人 西土佐環境・文化センター(四万十楽舎)(高知県)		
第9回	大賞	針江生水の郷委員会(滋賀県)
	優秀賞	株式会社 知床ネイチャーオフィス(北海道)
		特定非営利活動法人 飛騨小坂 200 滝(岐阜県)
		特定非営利活動法人 桜島ミュージアム(鹿児島県)
	特別賞	特定非営利活動法人 えがおつなげて(山梨県)
		特定非営利活動法人 八ヶ岳スーパートレイルクラブ(長野県)
鳥羽市エコツーリズム推進協議会(三重県)		
特定非営利活動法人 おおぎみまるごとツーリズム(沖縄県)		

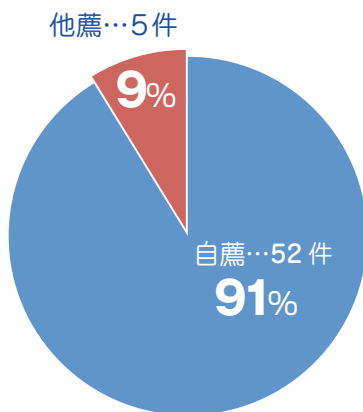


'14 ECOTOURISM AWARD

応募状況

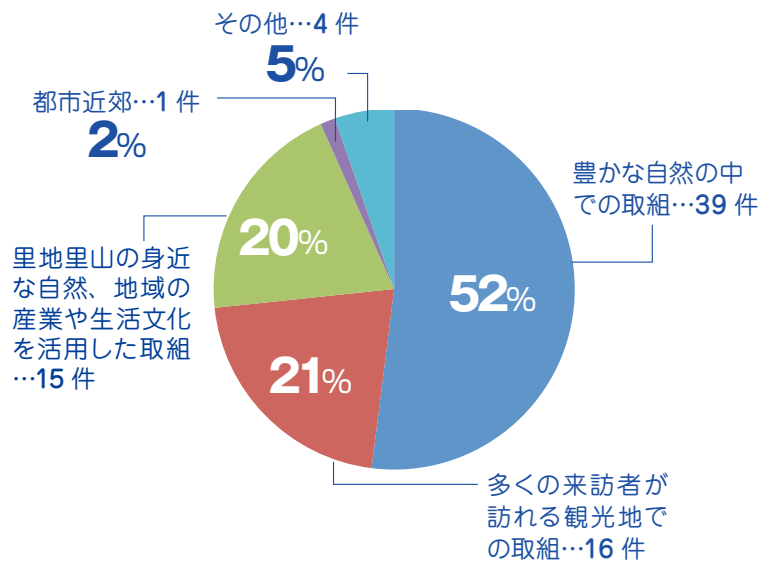
第10回エコツーリズム大賞へ応募があった57件を、「応募主体」「地域特性」「対象主体類型」「設立年」ごとに集計。さらに「全国応募状況」として都道府県ごとにまとめた。

応募主体



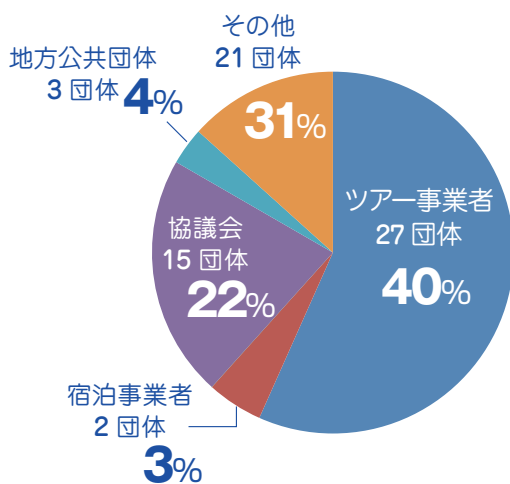
地域特性

※ 複数回答

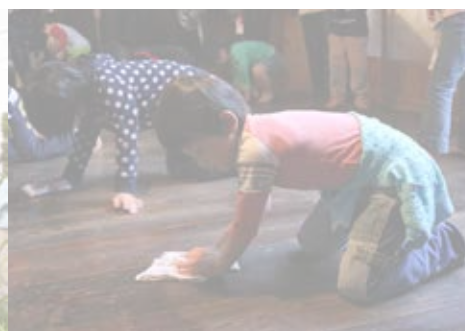
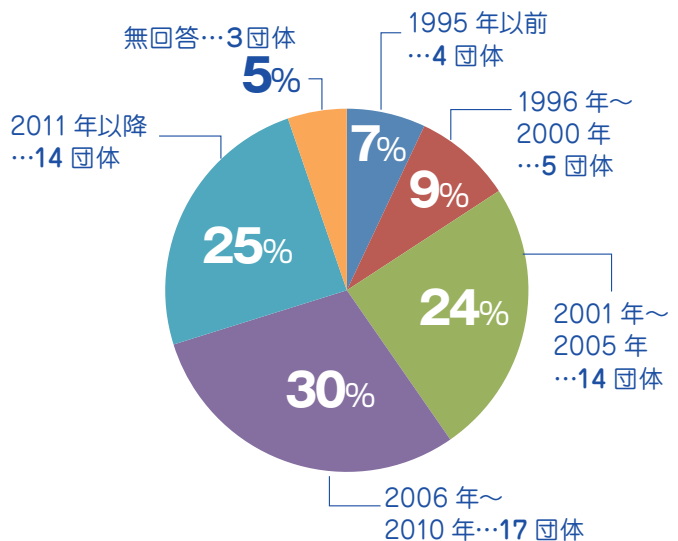


対象主体類型

※ 複数回答

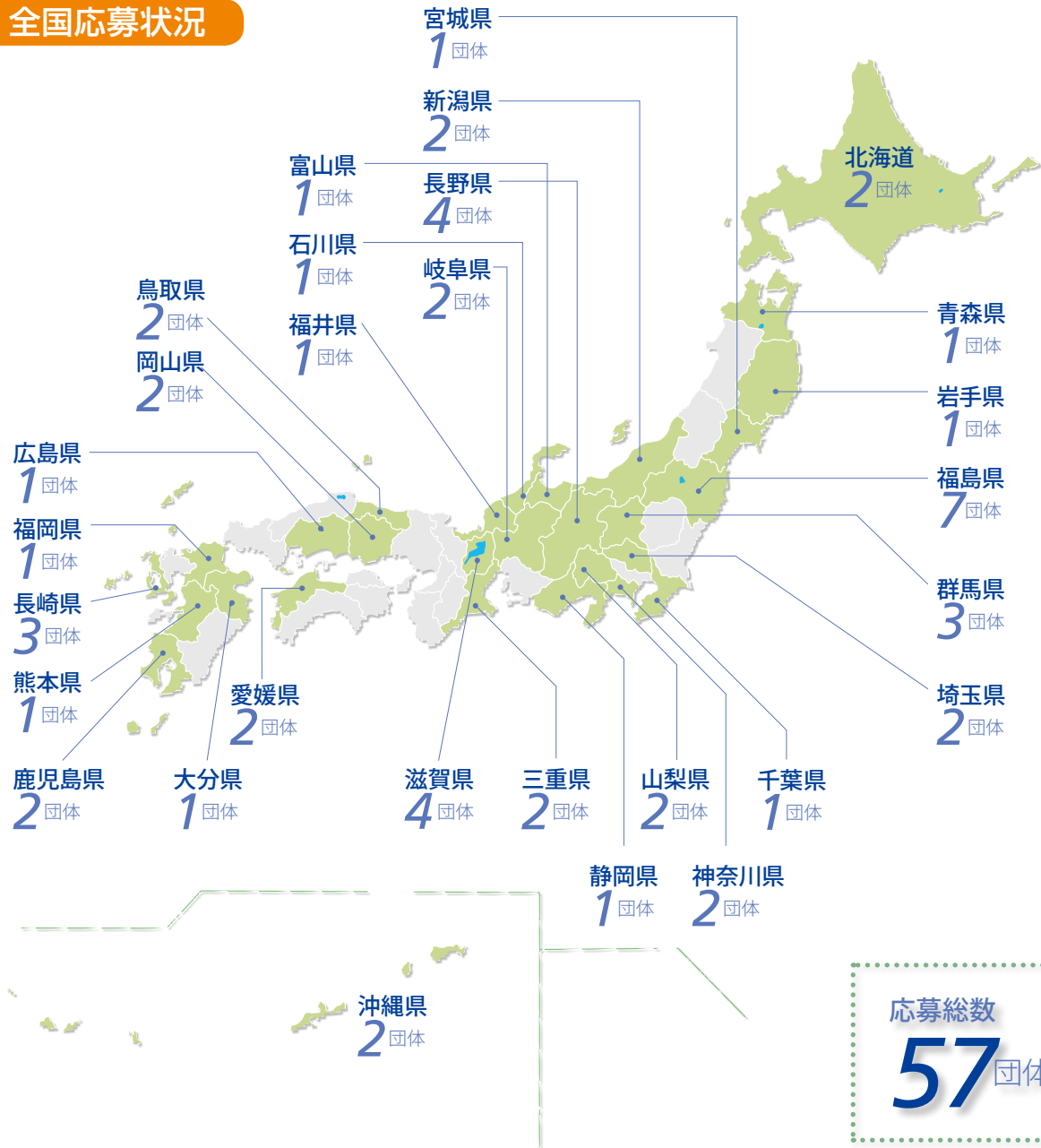


設立年





全国応募状況



応募総数
57団体



「第11回エコツーリズム大賞」募集のご案内

募集対象

●エコツーリズムへの優れた取組事例を募集します。

取組の例

- ・ 地域におけるエコツーリズム推進団体の設立と運営
- ・ 保全利用協定やガイドラインなどのルールづくりやその継続
- ・ 農業体験や校外学習などと連携したエコツアーの実践
- ・ 環境への配慮や環境保全への貢献
- ・ エコツアー等の情報提供の取組
- ・ 環境保全や地域振興への観光収益の還元システムづくり
- ・ エコツアーにおけるゴミの削減や環境負荷の低減
- ・ エコツアーのマーケティングや斡旋などを含めたエコツアー事業の運営など。



表彰

●エコツーリズム大賞(1点)、エコツーリズム優秀賞と特別賞各数点を予定しています。

*受賞者には表彰状と副賞を授与します。

応募資格

1. エコツーリズムに取り組む団体(事業者、企業、地方自治体、地域のグループ等)。
2. 経験年数、法人格の有無、種類は問いません。
3. 自薦、他薦の別を問いません。
4. 過去の優秀賞・特別賞受賞者も応募可能です。

募集時期

2015年夏頃予定。詳細は環境省ホームページでご案内する予定です。

(<http://www.env.go.jp/>)

審査

エコツーリズム大賞審査委員会において各賞を選定し、環境大臣が決定します。

決定後受賞者に通知し、表彰式を行います。



発行日：2015年3月

発行：環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

TEL：03-3581-3351 FAX：03-3508-9278

<http://www.env.go.jp/>

制作協力：NPO法人日本エコツーリズム協会 Japan Ecotourism Society (JES)

